

【令和7年度 第3号】

加東市教育委員会
小中一貫教育推進室
E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp
令和7年4月22日発行

小中一貫教育だより

社学園小学校 始業式

4月7日(月)、新学期が始まりました。井上聡校長から、「皆さんと一緒に社学園の開校を迎えられたこと、大変嬉しく思います。」とあいさつがありました。



【学級担任・教職員の紹介の様子】



【式辞の様子】

そして式辞では、「地域の皆さんの見守り活動のおかげで、無事に登校することができました。安全に登校できた感謝の気持ちを元気なあいさつで伝えましょう。新しい学校のスタートにあたり、『新しい自分』に挑戦しましょう。」と話があり、社学園小学校、児童 807 名、教職員 90 名の新たなスタートが切られました。

社学園 令和7年度 第1回 学校運営協議会 開催



【入学式での入場の様子】

4月11日(金)に社学園令和7年度第1回学校運営協議会が開催されました。

教育長は冒頭のあいさつで「社学園小学校の入学式で感動したこと、中学生の吹奏楽部の演奏に合わせて、9年生が1年生の手を引いて入場してきた。その姿を見た1年生の保護者が8年後、このようになるのだなと言っておられた。いよいよ新しい学校が始まったと実感した。また近年、教育課題が多様化、複雑化してきており、学校だけでは解決が難しい状況である。だからこそ、地域の代表の方で構成される学校運営協議会の役割の重要性が高まってきており、子どもを育てる上で大切な組織である。」と述べました。

この協議会の顧問を務める兵庫教育大学 浅野良一先生から「コミュニティ・スクールの概要 ～学校運営協議会の

効果的な取組～」として説明と講義があり、委員の皆さんは熱心に聞かれていました。また「子どもたちからは昨年度、4校交流や5校交流があり、子どもたちの中でしっかり交流ができていて、新しい学校になってもスムーズで馴染みやすかったと聞いている」や「昨年度、小規模校だった私たちの学校では、社学園になることを前提として、教員が子どもの主体性を意識した教育をしていたので今、社学園が始まり良かったと思っている。」などの意見交流がありました。委員の皆様、今後の取組よろしくお願いたします。



【浅野名誉教授の講義を熱心に聞く委員】